

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

=== 必ずお読みください ===

77xx シリーズ用アセンブラパッケージ V.5.10 Release 1B

リリースノート

第 4 版

株式会社ルネサス ソリューションズ

2006 年 1 月 1 日

概要

このたびは、77xx シリーズ用アセンブラパッケージ V.5.10 Release 1B を採用いただきまして、誠にありがとうございます。本資料は電子マニュアルの補足等について説明します。電子マニュアルの該当項目をご覧になる場合は、併せてこのリリースノートをご覧いただきますようお願い申し上げます。

目次

お問い合わせ先について.....	3
最新情報のご案内.....	3
ユーザ登録.....	3
1. インストール.....	4
1.1. インストールをはじめる前に.....	4
1.2. RASM77 のインストーラ.....	4
1.3. インストール方法.....	4
1.4. インストール後に生成されるディレクトリとソフトウェア.....	5
1.5. インストール後の環境設定.....	5
1.6. freeware に格納されているプログラムについて.....	5
2. 注意事項.....	6
2.1. PC 版に関する注意事項.....	6
2.2. アセンブラ単体製品をご購入の方へ.....	6
3. 旧バージョンからの変更点.....	6
3.1. RASM77 の変更点.....	6
3.2. LINK77 の変更点.....	7
3.3. BR77 の追加.....	7
3.4. LST77 の変更点.....	7
4. 動作確認環境.....	7
4.1. ソフトウェアのバージョン一覧.....	7

- Microsoft、MS- DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- IBM および AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。
- その他すべてのブランド名および製品名は個々の所有者の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先について

2003年4月1日、三菱電機セミコンダクタ・アプリケーション・エンジニアリング株式会社は、株式会社ルネサス ソリューションズに社名変更いたしました。ドキュメントに記載されている旧メールアドレスおよび URL は以下の最新のものに読み替えをお願いいたします。

ユーザ登録

ツールユーザ登録窓口： regist_tool@renesas.com

技術サポート

コンタクトセンタ： csc@renesas.com

ホームページ

<http://japan.renesas.com/tools>

最新情報のご案内

最新情報については以下を参照して下さるようお願いいたします。

<http://japan.renesas.com/tools>

ユーザ登録

バージョンアップ情報や技術サポート等のサービスを受けるためにユーザ登録を行ってください。ユーザ登録をされていない場合は、これらのサービスを受けることができません。また、ご購入後 30 日以内にユーザ登録をして下さるようお願いいたします。

1. インストール

1.1. インストールをはじめる前に

インストールをはじめる前に次の内容をご確認ください。

本製品の「使用権許諾契約書」、「リリースノート(本紙)」などをよくお読みください。製品をインストールした場合は、契約書の記載内容に同意されたものとみなします。

RASM77 を快適に使用するには 32M バイト以上のメモリと 20M バイト以上の空きハードディスク領域が必要です。

製品のインストールは専用のインストーラを使用します。

インストールの途中でライセンス ID を入力する必要があります。インストールをはじめる前にライセンス ID を確認してください。

RASM77 をバージョンアップする場合は、あらかじめ、インストールされている RASM77 をアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

RASM77 をアンインストールするには、「コントロールパネル」 - 「アプリケーションの追加と削除」を選択しアンインストールを実行してください。

1.2. RASM77 のインストーラ

日本語環境

対応ホスト	対応 OS	インストーラ名	CD-ROM 上のディレクトリ
PC	Windows98	SETUP.EXE	¥RASM77¥W95J
	Windows2000		
	WindowsNT		
	WindowsMe		
	WindowsXP		

英語環境

対応ホスト	対応 OS	インストーラ名	CD-ROM 上のディレクトリ
PC	Windows98	SETUP.EXE	¥RASM77¥W95E
	Windows2000		
	WindowsNT		
	WindowsMe		
	WindowsXP		

1.3. インストール方法

次の手順でインストールしてください。

- (1) CD-ROM 上の対象製品のインストーラが配置されているディレクトリに移動します。
- (2) インストーラを起動して表示されるメッセージにしたがってインストールを完了してください。

注意！

- ・インストールの途中で入力するデータは、ユーザー登録のためのファイルを作成するのに使用されます。
- ・インストール中の「コンポーネントの選択」画面で、「インストール先ディレクトリ」項目を「参照(R)」を使用して変更するとき、「ディレクトリの選択」画面の「ドライブ(V)」で表示されるドライブのいくつかが選択できなくなることがあります。この場合は「コンポーネントの選択」画面に戻り、その中の「ディスク容量(S)」

を使ってドライブ指定を行ってください。それでもうまく行かないときは、PC を再起動して再度インストーラを実行してください。

- ・空白を含む名前はインストール先ディレクトリとして指定できません。

1.4. インストール後に生成されるディレクトリとソフトウェア

インストールが完了するとインストーラのデフォルトのインストール先ディレクトリの下に、表に示すディレクトリが生成され、各ディレクトリに表のファイルがコピーされます。

インストール先ディレクトリ (デフォルト)

¥mtool

表.インストール先ディレクトリとインストールファイル一覧

ディレクトリ	ファイル
bin	rasm77.exe (アセンブラ)
	pre77.exe (構造化プリプロセッサ)
	link77.exe (リンケージエディタ)
	lib77.exe (ライブラリアン)
	hextos2.exe (モトローラ S フォーマットファイルコンバータ)
	crf77.exe (クロスリファレンサ)
	br77.exe (分岐最適化ツール)
	RASM77 ヘルプファイル
manual	rasm77uj.pdf (RASM77 電子マニュアル)

1.5. インストール後の環境設定

インストールが完了した後、次の環境変数を設定してください。

PC の環境設定

表の中の「自動」は、インストーラが AUTOEXEC.BAT を書きかえます。したがって、デフォルトでインストールを実行した場合は、AUTOEXEC.BAT を書きかえる必要はありません。

環境変数	設定例
INC77	自動 (SET INC77=C:¥MTOOL¥INC77)
TMP77	自動 (SET TMP77=C:¥MTOOL¥TMP)
コマンドパス	自動 (C:¥MTOOL¥BIN を追加)

1.6. freeware に格納されているプログラムについて

製品 CD-ROM の freeware ディレクトリには、製品の機能を補足するプログラムが格納されています。これらのプログラムはインストーラではインストールしません。各プログラム毎に CD-ROM から直接インストールしてください。インストール方法および機能の詳細については各プログラム毎のドキュメントファイルを参照してください。

lst77

アセンブラが生成するリストファイルのアドレスデータをリンク後の絶対番地書き換えます。

xref77

ローカル、グローバルシンボルの相互参照リストを生成します。

注意事項

freeware は動作保証および保守は原則として行いません。本ソフトウェアを使用することにより、直接的、間接的に発生した損害については（株）ルネサステクノロジおよび（株）ルネサスソリューションズは一切の責任を負いません。

2. 注意事項

2.1. PC 版に関する注意事項

RASM77 は Windows3.1 および Windows NT 3.5x 以前のバージョンでは動作しません。動作確認環境については「動作確認環境」の項を参照ください。

ファイル名についての注意事項

ソースプログラムファイルの名前や作業を行うディレクトリ名は、以下の注意事項に従って下さい。

- 漢字を含むディレクトリ名、ファイル名は使用できません。
- ファイル名に使用するピリオド(.)は一つのみ使用可能です。
- ネットワークパス名は使用できません。ドライブ名に割り当ててご使用下さい。
- ショートカットは使用できません。
- 空白を含むディレクトリ名、ファイル名は指定できません。
- "..."表記を用いて2つより上のディレクトリを指定する事は出来ません。
- パス指定を含めたファイル名の長さが128文字以上になるものは使用できません。

MS-DOS プロンプトについての注意事項

日本語 Windows NT 環境で DOS 窓のサイズが 80x25 以外に設定されている場合、RASM77 を起動すると窓のサイズが頻繁に切り替わる事があります。窓のサイズを 80x25 にすることを推奨します。

ウイルスチェックプログラムについての注意事項

ウイルスチェックプログラムが常駐した状態で RASM77 を起動すると正常に起動しない場合があります。その場合は、ウイルスチェックプログラムの常駐を解除してから RASM77 を起動しなおしてください。

2.2. アセンブラ単体製品をご購入の方へ

アセンブラ単体製品をご購入の場合は、製品 CD-ROM に付属している TM をインストール、使用することはできません。

3. 旧バージョンからの変更点

2004年4月1日出荷分よりバージョン番号が V.5.10 Release 1B となりますが、V.5.10 Release 1 と製品内容には変更ありません。

2005年4月1日に、EWS 版の販売は終了となりました。

3.1. RASM77 の変更点

条件アセンブル偽部分に記述されたマクロ引数を展開してしまう問題点を修正しました。

3.2. LINK77 の変更点

- - BRAL コマンドオプションを追加しました。
飛び先番地が xxFFFFh 番地となる BRAL 命令の命令コードを検出した際には、ワーニングメッセージを表示します。なお、BRAL 命令の検出は機械語コードパターンにより検出します。したがって、該当するデータが実際に BRAL 命令記述によるものであるかどうかはソースプログラムで確認してください。
- ワーニングメッセージを追加しました。
WARNING NO.1: BRAL specified address is xxFFFFh (description address xxxxxh) xxxxxh 番地に、飛び先が xxFFFFh となる BRAL 命令が配置されている可能性があります。

3.3. BR77 の追加

- 分岐最適化ツール br77 を追加しました。
br77 は、分岐命令の分岐先アドレスが範囲外のためアセンブルでエラーとなる分岐命令を分岐可能な命令に変換するツールです。

3.4. LST77 の変更点

- 同一ファイル内に同一セクション名が連続して記述されていると、その後に記述されたセクションが LST77 でエラーとなる場合がある問題点を修正しました。
- 変換対象ファイル名を指定せずオプションを指定すると LST77 が強制終了する問題点を修正しました。

4. 動作確認環境

RASM77の動作を実際に確認しているホストマシンおよびOSのバージョンについて以下に示します。

ホスト名	OS のバージョン	CD-ROM のディレクトリ
IBM PC/AT 互換機	Microsoft Windows 98 Microsoft Windows NT4.0 Microsoft Windows 2000 Microsoft Windows Me Microsoft Windows XP	W95J,W95E

4.1. ソフトウェアのバージョン一覧

RASM77	V.5.10.00	アセンブラ
PRE77	V.5.00.00	構造化プリプロセッサ
LINK77	V.2.10.00	リンケージエディタ
LIB77	V.5.00.00	ライブラリアン
CRF77	V.2.10.10	クロスリファレンサ
hextos2	V.2.00.00	機械語変換ツール
BR77	V.1.00.00	分岐最適化ツール

本製品には、以下のソフトウェアが freeware として含まれています。

XREF77	V.1.10.00	複数ファイル対応クロスリファレンサ
LST77	V.1.00.10	絶対アドレスリスト生成ツール

以上